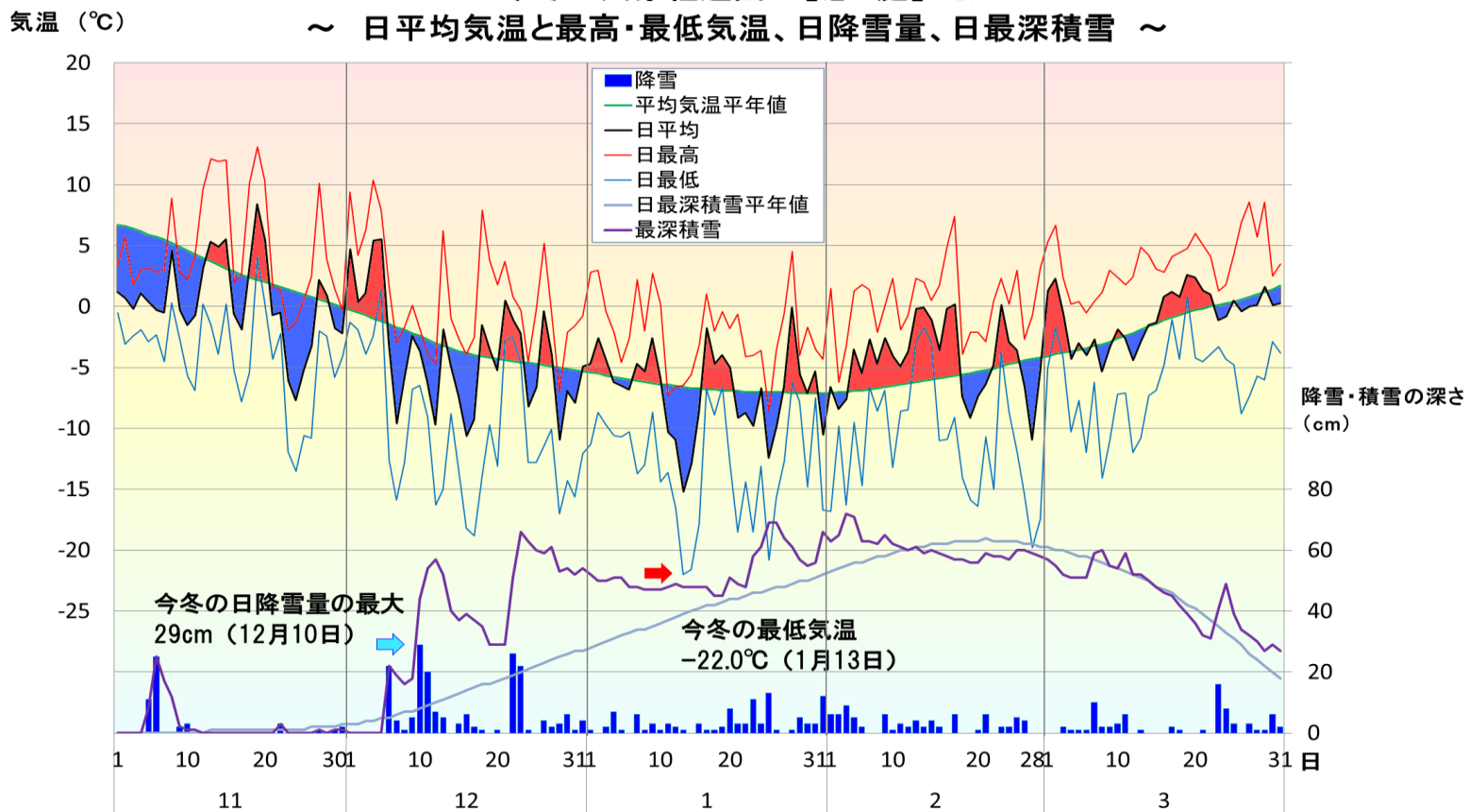


今冬の気象経過図 【恵庭】※

～ 日平均気温と最高・最低気温、日降雪量、日最深積雪 ～



気象庁予報部予報課航空予報室
航空交通気象センター 浜本予報官提供

※ 恵庭島松（気象庁の地域気象観測所(アメダス)）

今年の冬、前半（11月～12月）は、大雪や寒暖の差が大きい時期がありましたが、後半（1月～3月）は比較的穏やかに経過しました。

11月：北海道付近は大きな気圧の谷の中となったため、寒気が次々と入り全道的に記録的な低温となりました。恵庭の月平均気温は、0.4度と11月としては観測史上2位の低さとなりました。日最低気温も23日には-11.9度と低い方から9位となりました。また、6日には最深積雪が25センチと11月としては多い方の3位となり、寒さが厳しく雪も多い月でした。

12月：冬型の気圧配置や低気圧などにより雪や雨の日が多く、大雪になった日がありました。6日には発達した低気圧が通過したため日降雪量は22センチと大雪となりました。10日～11日は強い冬型の気圧配置となったため、2日間の降雪量の合計は49センチに達しました。クリスマス前の22日～23日には発達した低気圧の通過で2日間の降雪量が48センチに達し、大きな交通マヒが起こりJRの運休527本、航空機607便が欠航、23日夜には新千歳空港で約6,000人が夜を明かしました。月の降雪量合計は170センチで12月としては多い方から7位の記録となりました。また、気温の変動が大きく、13日の最低気温が-15.0度・日中の最高気温は6.2度と最低気温と最高気温の差が21.2度、18日は最低気温が-13.8度で日中の最高気温

が7、9度と最低気温と最高気温の差が21、7度と、1日で春と真冬が入れ替わるという極端な日がありました。

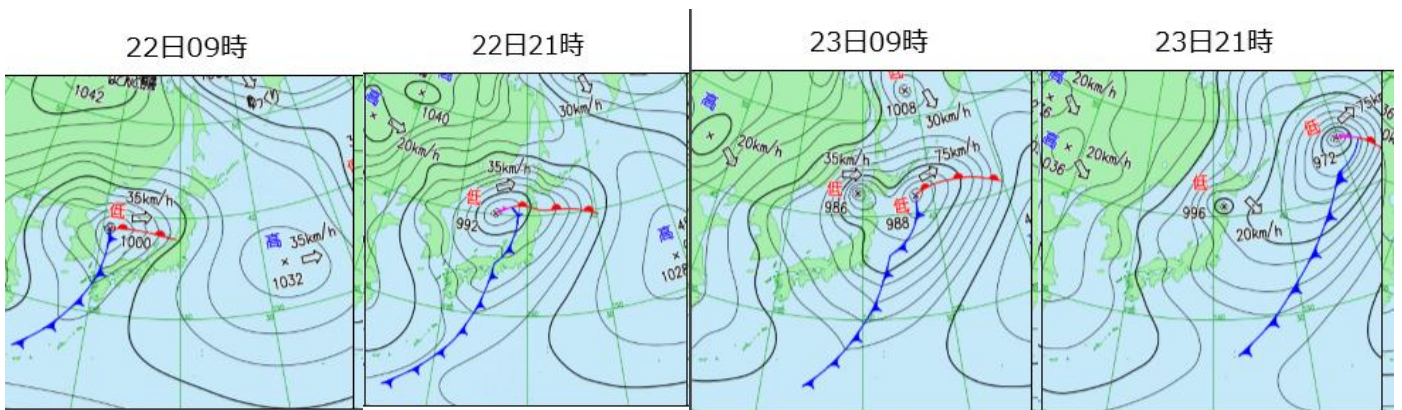
1月：年が明けると一変し、穏やかな日々となりました。月降水量の合計は31、0ミリと少ない方から5位となりました。

2月：1月に続いて穏やかな日が多く、月降水量が10、5ミリと少ない方の第1位の記録となりました。ただ、日照時間の月合計が106、6時間と少ない方の7位となり、雲の多い日が多くなりました。

3月：天気は周期的に変わり穏やかな日が多く、月平均気温が-0、8度と高い方の第10位となりました。



§ 12月22日～23日 大雪をもたらした時の地上天気図 §

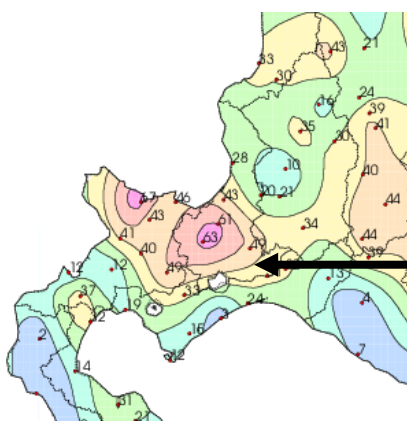


<概況>

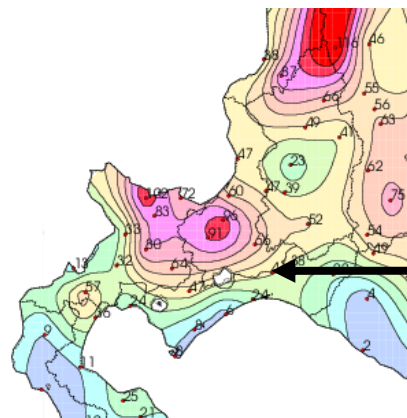
12月22日9時、日本海西部の低気圧が発達しながら北東に進み、23日9時には渡島半島付近達し、23日夜には北海道の南海上に進みました。恵庭市では22日昼前から23日未明にかけて温暖前線が通過し、23日明け方から夜遅くにかけては低気圧周辺の雪雲が入りました。このため湿った雪が降り大雪となりました。

22日～23日の
降雪量の合計 48cm

22日～23日の
最深積雪 66cm 23日 18時



恵庭市



恵庭市